

第2回和光市広沢複合施設整備・運営事業者審査委員会 議事録

1 日時、場所

日時：平成30年5月22日（火）午後2時00分～午後4時00分

場所：和光市役所3階庁議室

2 出席者

【委員】安登委員長、倉斗副委員長、小川副委員長、亀井委員、船田委員（以上5名）
（欠席 橋本委員）

【事務局】和光市企画部資産戦略課

【アドバイザー業務委託事業者】パシフィックコンサルタンツ株式会社

3 議事

(1) 実施方針への質問・回答【報告】について

- ・事務局より実施方針への質問・回答の主な内容について、報告を行った。

(2) 募集要項（案）・要求水準書（案）について

- ・一部修正があったようだが、大きくは変わっていないということで了解した。

(3) 審査基準（案）について

■ 論点1 価格点と提案点の配分割合

- ・価格点と提案点の配点割合は3:7の事例が多いなかで、応募者からすると2:8はメッセージ性が強く斬新な印象を与える。異議がないということで2:8で決めたい。

■ 論点2 価格点の点数化方法

- ・議論の結果、異議がないようなので比率方式とする。

■ 論点3 価格点審査の算定対象

- ・予算との差で見ることになるため、「現在価値化」より「実額」の方が比較でき分かりやすい。実額とする。

■ 論点4 提案点の点数化方法

- ・提案点の点数化方法について、4段階評価と5段階評価については如何か。
- ・5段階評価が良いという方が多いため、5段階評価とする。ただし、どちらともいえないから中間点をつけるのではないことを理解した上で審査していただきたい。

■ 論点5 最低基準点の設定について

- ・最低基準点を表現することは難しいのではないか。大事なことは市民、子どもたちにとって良い施設ができることだと思う。それを最低基準点でどう表現するか。何点がミニマムクワイアメントなのか、表現しづらいというのが率直な意見。

- ・最低基準点については、評価のところで必要であれば設定し、定性的な部分については対話の中で確認していく機会もあると思う。

■ 論点 6 審査における匿名性について

- ・提案審査段階における応募グループの企業名は、多数決で非公表とする。

■ 論点 7 審査方式について

- ・審議方式は合議（ケース 1）、審議有りの平均（ケース 2）、審議なしの平均（ケース 3）のどれがよいか。
- ・議論の結果、ケース 2 とする。審査に際しては委員の専門性を踏まえて説明をお願いしたい。

■ 評価基準について

- ・本事業はオペレーションに重きをおいており、キーワードとしては市民参加、協働、ブランディング、エリアマネジメント、対話等に重きを置いていると考えているが、評価の視点にはそのような点が入っていない。
- ・今後 20 年間で社会は大きく変化することが想定される。この変化を取り入れる体制として民間マネジメントチームでどういう人を配置し、何をするのかを想起できるような評価の視点が必要だと思う。
- ・民間マネジメントの業務体制について、全体を民間事業者がまとめるということや全体計画が重要と考える。個別分野よりも上位概念に配点を寄せることができないか。
- ・評価基準については、メリハリをつけてメッセージ性をつけていただきたい。

以上